

改訂版

道路政策の変遷

道路政策の変遷

公益社団法人 日本道路協会

A5判・668頁
定価 2,000円（税別）
平成30年3月発行

本書の概要

現在、我が国は、本格的な人口減少、高齢化、厳しい財政制約、自然災害の激甚化、インフラの老朽化という困難な課題に直面しています。一方で、急速に進展する技術革新、人とクルマの関係の再考等の社会の要請にも応える必要があります。

これらの課題を克服し、我が国の明るい将来を築くため、最も身近で基礎的な社会交通基盤である道路の政策の立案にあたっては、道路行政の先人たちによるこれまでの道路政策の歩みを踏まえながら、柔軟かつ大胆な発想をもって幅広く検討することが重要です。

本書は公益社団法人日本道路協会が、平成26年3月に『道路の長期計画』として発刊したものを改訂いたしました。

今回の改訂で、平成26年3月の発刊以降の法改正や制度・基準の動き、第4次社会資本整備重点計画、平成29年8月の道路分科会建議、主要な道路施策の項目を追補し、新たに『道路政策の変遷』として発刊いたしました。

本書が関係者に広く活用され、道路政策の企画・立案のための基礎資料となることが期待されます。

目次

I 概説	1
II 明治維新から戦後にかけての道路整備	5
III 道路に関する制度・基準の変遷	38
IV 我が国の道路網体系	117
V 長期計画等の概要と変遷	180
VI 自動車輸送の進展と道路交通情勢	398
VII 主要な施策の変遷	441
VIII 長期的な政策の立案手法に関する現状と方向性	627

【編集・発行】

公益社団法人 日本道路協会

TEL 03-3581-2211

【発売所】

丸善出版(株) 書籍営業部

TEL 03-3512-3256 FAX 03-3512-3270